

No.1868

6月2日例会	プログラム	「親睦委員会について」	谷口 康則君
6月9日例会	プログラム	「測量の日」	難波 孝彰君
6月2日のメニュー ・カツカレー ・サラダ ・デザート ・コーヒー			

前回（5月26日）例会記録

出席報告	会員総数	39名(内出席規定適用免除者 3名)	出席者数	27名	欠席者数	9名	出席率	75%	前回補正率	77.78%
	前回補正者	三宅(照)君								
	欠席者	緋田君 藤原君 福森君 花岡君 井上君 東川君 三宅(孝)君 三宅(照)君 中山君								

来訪者 垣内 康弘様(大阪リバーサイドRC会長)、中山 正隆様(大阪リバーサイドRC会長エレクト)、乾 勝亮様(大阪リバーサイドRC幹事)、富 道雄様(大阪リバーサイドRC会員)、野間 雅伸様(大阪リバーサイドRC次期幹事)、小松原 竜司様(山陽新聞玉野支社次長)

会長挨拶

例会出席ご苦労様です。先ず、本日のお客様をご紹介します。友好クラブ 大阪リバーサイドロータリークラブからいらっしゃいました、先ず会長の垣内康弘様、会長エレクト 中山正隆様、幹事の乾勝亮様、富道雄様、次期幹事 野間雅伸様です。本日卓話を頂戴致します山陽新聞玉野支社次長の小松原竜司様です。岸啓二会員の後任の仲田正幸様です。

我がクラブ最初の友好クラブとなりました大阪リバーサイドロータリークラブの皆様、ようこそいらっしゃいました。4月27日に玉野ロータリークラブから5名で友好クラブの調印に参りました際には、暖かくお迎えを頂きまして大変有難う御座いました。心より感謝申し上げる次第で御座います。又、友好関係が結べましたこと会員一同喜んで居る所であります。垣内会長さんをご挨拶の中で話されましたが、77年前の1929年4月27日は、日本で第1回目の地区大会を京都で行った記念すべき日だったそうです。その4月27日が玉野ロータリークラブ「最初の友好クラブ」締結の日となりました。又、頂戴致しましたお見舞い金を玉野市へ寄贈させて頂きましたが、奇しくも、昨年の4月27日に発生致しました深山公園の山火事修復の為に植樹する樹木の購入費用に充てて頂きました。4月27日は玉野ロータリークラブにとっても忘れることの出来ない記念すべき日となりました。そして4月29日「みどりの日」には当クラブの18名の会員が山火事復旧の為に「市民の森づくり植樹」に参加致しまして、深山公園の焼け跡でいい汗を流しました。我々の植えた樹木が大きく成長していきますように両クラブが益々大きく発展し、又友好が深まればと思っております。平成15年12月、当ホテルの当時の社長富さんとの出会いから始まりまして、我がクラブへメーキャップに来られ始め、その人柄から親しくお付き合いが始まりました。そして昨年垣内会長さんのメッセージと共に頂戴致しました台風被害へのお見舞い金へと発展したという事です。いわば富さんが結びの神であります。本日は、瀬戸大橋も一望できる素晴らしいこのダイヤモンド瀬戸内マリンホテルからの景観をお時間の許されます限りごゆっくりお過ごし頂ければと思いい例会場を変更致しました。最後に今後両クラブが素晴らしい友好関係を構築し、未永く交流関係が続けていけますように、そして、大阪リバーサイドロータリークラブさんの益々のご発展をご祈念申し上げます、会長挨拶と致します。

友好クラブ調印式

大阪リバーサイドRCと玉野RCの友好クラブ調印式が執り行われました。

大阪リバーサイドRC
垣内会長



玉野RC
藤田会長

新入会員入会式

氏名	仲田 正幸 (なかた まさゆき)	生年月日	昭和 25 年 7 月 4 日
職業	三井造船株玉野事業所 総務部長		
住所	〒706-0012 玉野市玉 3-1-1	☎	23-2010 FAX 23-2006
職業分類	造船	所属委員会	親睦・家族委員会
現住所	〒706-0021 玉野市和田 6-12-12	☎	81-6356



入会挨拶

4/1付の異動で玉野へ参りました三井造船総務部の仲田でございます。赴任後今日までの当地での生活での印象は概ね良好でございます。三井造船に入社以来34年ですが、ロンドンで7年、大阪で3年、それ以外は東京でございました。この度初

めて玉野に来まして非常に良いところへ来たと思っております。今までの人間関係については、仕事関係に限られていたような気がします。この度、玉野RCに入会させて頂きまして、直接仕事とは関係ない皆様とお付き合いできるようになるというのは楽しみにしておりますし、朝夕まちを歩いていて「おはようございます」、「こんにちは」と声を掛けられることは今まで殆どございませんでした。来月末には家内もこちらへ合流する予定ですが、家内さえその気持ちになれば、この地を次の住みかとして定めても良いという気持ちになりつつあります。今後とも末永くよろしくお願い致します。

会長報告

- ・ 本日、お見えの大阪リバーサイドRCより、皆様方へお土産を持って下さっていますので、お帰りの際には受け取って頂きたいと思っております。

幹事報告

- ・ 玉野手話サークルより、手話だよりが届いておりますので、回覧致します。
- ・ 新宮ガバナーエレクトより、次期会長宛「地区協議会」出席に対するお礼状が届いております。
- ・ 社会福祉法人「岡山市手をつなぐ育成会」より、先の岡山県南 18RC 合同チャリティーゴルフコンペにおける寄付金のお礼が届いております。
- ・ 米山奨学会事務局より、「ハイライトよねやま」が届いております。
- ・ ローターリーの友事務所より、「友」インターネット速報 NO.234 が届いております。
- ・ 他クラブの週報・例会変更通知は、回覧致します。



垣内 康弘様

来訪者挨拶

大阪リバーサイドRC会長 垣内 康弘様からご挨拶を頂きました。

スマイル・ボックス

- ・ 大阪リバーサイドRCより金一封を頂きました（三宅(保)SAAからの報告）。
- ・ 石川君 - 富永さん、県南 18 ロータークラブ第 1 回チャリティーゴルフコンペ優勝おめでとうでございます。
- ・ 宇野君 - 大阪リバーサイドRCの皆様、ようこそ。大阪リバーサイドRCの富様には大変お世話になりました、いろいろとありがとうございました。
- ・ 小野君 - 大阪リバーサイドRCの皆様を歓迎して。仲田さんを歓迎して。
- ・ 島田君 - 富副会長様、よくおいでくださいました。
- ・ 白石君、植田君 - 大阪リバーサイドRCの皆様、ようこそいらっしゃいました。
- ・ 富君 - 玉野におりました 2 年半、皆様に大変お世話になりました、ありがとうございました。
- ・ 難波君 - 大阪リバーサイドの皆様、ご遠路ありがとうございました。
- ・ 藤田君 - 大阪リバーサイドRC垣内会長さんをはじめ 5 名の皆様、ようこそいらっしゃいました。心より歓迎致します。玉野地区防火協会の第 43 回通常総会無事終わりました。
- ・ 三谷君、三宅(保)君 - 大阪リバーサイドRCの皆様、ようこそいらっしゃいました。心から歓迎します。仲田部長の入会を歓迎いたします。

プログラム 「新聞づくりについて」 山陽新聞玉野支社 次長 小松原 竜司様

新聞をどのようにして作っているのか、知っているようで知らないと思ひまして、その辺のところを説明致したいと思います。私達記者が取材して記事を書き、それを昔は手書きで FAX 送信していました。今は全てパソコンで書いてそれを電話回線にのせて通信で送る仕組みになっております。写真も同じく昔はフィルムを撮って、大昔はタクシーやバスに放り込んで本社へ届けていましたが、今はデジカメで撮ってパソコンに繋いでそのまま通信で送る仕組みになっております。従って、離れた所でもすぐ写真が入るという状況になっております。当社の新聞の特徴は、玉野圏版、岡山市民版、津山版等全部で 12 画面体制をとっており、岡山市内へ行けば岡山市民版に色が付いており、倉敷版が見られるようになっており、そういうキメ細かさが 1 つの山陽新聞の特徴であります。ここまでキメ細かいのは全国でも屈指であると私は普段から聞いておりました、その分、より皆様に親しんで頂いているものと思っております。地方版の充実のほかに、全県面の充実というのもあり、全県下へ知らしめるべくニュースがこの面に載っております。

次にエレア総合という紙面があります。エレアとは岡山、広島、香川の 3 県のことで、そのエレアの行政ネタ等々をこちらの紙面に入れるようになっており、3 県どこでもこの面があるというつくりになっています。

玉野支社について話をさせて頂きます。玉野支社は岡山県内に 9 つある支社の 1 つです。全世帯の 6 割以上が玉野圏版を取ってくださっており、岡山県内 15 市の中で普及率はトップで、それ程玉野圏版は愛されているのかなと喜んでおります。人員は私の上司の支社長、デスクの私と記者 4 人で日々玉野市民版を作っております。私は玉野勤務が 2 回目ですが、2 回目の勤務になってまさに強く思っていることは、やはり玉野のまちづくりは海を生かした話が一番説得力があるということです。皆さんは当たり前のようにも知れませんが、私のような岡山市内育ちの人間から見ると、海の良さとか何とも言えない潮風の臭い、雰囲気、波の音、海岸線というのが、心が非常に落ち着く感じがします。私は現在玉野市内に住んでいますが、やはり海の良さというものを感ずります。例えば、国道 30 号線を岡山から玉野へ向かう途中で深山公園を経てループ橋のあたりへ来ると海が見えるポイントがあります。船が見えたりしますが、そういうことを普段感じるとやはり海のまちであると強く思います。先日、宇野港で港フェスティバルが実施されましたが、あの賑わいでも海とか船とか日常あまり接触することのないことを目指して皆さんが来ると思うのです。その辺が海の魅力であると思っております。私達の仕事としては、こういう玉野の海の魅力を紙面を通じて発信していくことが 1 つの役割であると自負しながら、日々仕事に励んでいるところでございます。どうも今日はありがとうございました。

